

【第22回】4月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム
遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組み
(国立情報学研究所 (NII) 主催・2020/12/11オンライン開催)

香港教育大学における オンライン化の現状について

片岡 新



発表内容

1. はじめに
2. 香港教育界におけるCovid-19の影響
3. 香港教育大学（EdUHK）の教育形態
4. 香港教育大学のオンライン教育実施状況
5. 大学からのサポートと教員・学生への評価調査
6. 今後の課題

1. はじめに



自己紹介

- Department of Linguistics and Modern Language Studies (LML) 助教授・副学科長
- 研究分野：広東語文法
- 担当科目：中国語文法、中国語修辞学、第二言語習得論など
- ICT教育に関しては全くの初心者、毎日が試行錯誤

2. 香港教育界におけるCovid-19の影響

小中学：

- 昨年度(2020/2)より多くオンラインで授業・宿題提出
- 多くはGoogle Classroomを使用
- 今年度(2020/9)より対面授業原則再開
- 第4波の影響で小学校は学期期間縮小、クリスマス休暇を繰り上げ導入

大学：

- 昨年度(2020/2)よりほぼ全面オンライン
- 今年度(2020/9)よりほぼ全面オンライン、学生は登校する必要なし
- 香港の大学はほぼZoomを使用
- 学生が香港にいない場合もあり、対面授業の場合もオンラインを併用

3. 香港教育大学 (EdUHK) の教育形態

- 教員養成(BEd)課程が多い
- 教員養成課程は5年、その他の課程(BA)は4年、トップアップは2年
- 学生は香港の地元の学生、中国大陸の学生、交換留学生
- 授業はほとんどの科目が英語で授業
中国の言語・文化・歴史の授業は中国語（広東語・北京語）
- 一科目：週一コマ、一コマ3時間、13週で終了が標準スタイル
- 通常授業のほかに、海外研修・香港の中小学校で教育実習

香港教育大学 (EdUHK)



Faculty of Education and Human Development (FEHD)

- Department of Curriculum and Instruction (C&I)
- Department of Early Childhood Education (ECE)
- Department of Education Policy and Leadership (EPL)
- Department of International Education (IE)
- Department of Psychology (PS)
- Department of Special Education and Counselling (SEC)



Faculty of Humanities (FHM)

- Department of Chinese Language Studies (CHL)
- Department of English Language Education (ELE)
- Department of Linguistics and Modern Language Studies (LML)
- Department of Literature and Cultural Studies (LCS)
- Centre for Language in Education (CLE)



Faculty of Liberal Arts and Social Sciences (FLASS)

- Department of Asian and Policy Studies (APS)
- Department of Cultural and Creative Arts (CCA)
- Department of Health and Physical Education (HPE)
- Department of Mathematics and Information Technology (MIT)
- Department of Science and Environmental Studies (SES)
- Department of Social Sciences (SSC)

4. 香港教育大学のオンライン実施状況(1/8)

- 事務関係： 職員会議・採用面接はZoom
事務職員は交代でWFH
- 学術会議： 今年初めに予定されていた学会等は中止・延期
夏以降の学会・シンポジウムはすべてZoom
- 学生： 入学面接はZoom
9月初の新入生オリエンテーション・歓迎会は中止
11月の卒業式は中止

4. 香港教育大学のオンライン実施状況(2/8)

- **授業：** 今年旧正月後(2月)からほぼ全面オンライン
ソフトは Moodle と Zoom を使用
一部の授業は人数制限つきで対面授業も
- **大学の指示：** 授業はなるべく本来の時間割通りに行う
事前録画したビデオを使うことはできるだけ避ける
学生の学びを保証するためシンクロナス方式を推奨
チャットボックスなどで学生からの質問に適宜回答

4. 香港教育大学のオンライン実施状況(3/8)

私の授業

1. MoodleとZoomを使用
2. Moodleは資料配布、オンライン試験、課題提出用
3. Zoomは画面シェアを多用した講義用
4. チャットボックスやホワイトボードで学生の意見聴取
5. ブレイクアウトルームでグループディスカッション
6. 講義はZoomを通じて録画、学校のサーバーに保存後、Moodleに動画の埋め込み
7. 携帯電話でZoomを使う学生もいるので、大きめのフォント使用

4. 香港教育大学のオンライン実施状況(4/8)

期末試験

1. MoodleとEmailで同時に問題用紙配布（ダウンロード）
2. 選択肢問題や簡単な答えを書く問題はMoodleのオンラインクイズ機能を利用
3. 長文形式の問題はWordに書き込んだ後、MoodleのTurnitinに提出。参考資料・レジユメ閲覧可。

外国語選択科目の試験（同僚の例）

1. Zoomのカメラとマイクをオンにする(不正防止)
2. 試験用紙をZoomで公開、書く問題は撮影して提出

4. 香港教育大学のオンライン実施状況(5/8)

オンラインに比較的スムーズに移行できた理由

1. 2003-2004年のSARSの記憶がまだあり、コロナ発生後、香港社会全体が危機回避モードにすぐ移行できた
2. 2019年の香港の社会運動の影響で、2019年度11月の最後の二週間がオンラインで行われていたため、2020年1月のコロナ発生直後も順応しやすかった
3. 学生のICTリテラシーが高い
4. もともと「one-course one-online-lesson」という方針が浸透
5. 香港の至る所に無料でwifiが使える場所がある
6. 携帯電話がデータ無制限の格安プランが多い

4. 香港教育大学のオンライン実施状況(6/8)

オンラインの問題点1：使用アプリの制約

コロナのため、香港ほぼロックダウン

➡中国から香港に入国できない学生が大勢

➡Google関係のアプリ（Google Slide や Youtubeなど）が使えない

➡Zoomは中国でも使えるので、ビデオシェアをするか、大学のVPNを使用させる必要

写真(右)：学生に自分の場所の気温をZoomで聞いた時のチャットボックスから



4. 香港教育大学のオンライン実施状況(7/8)

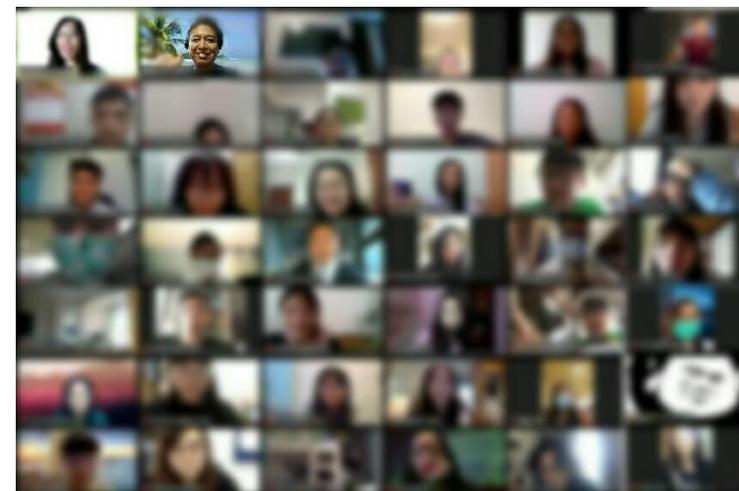
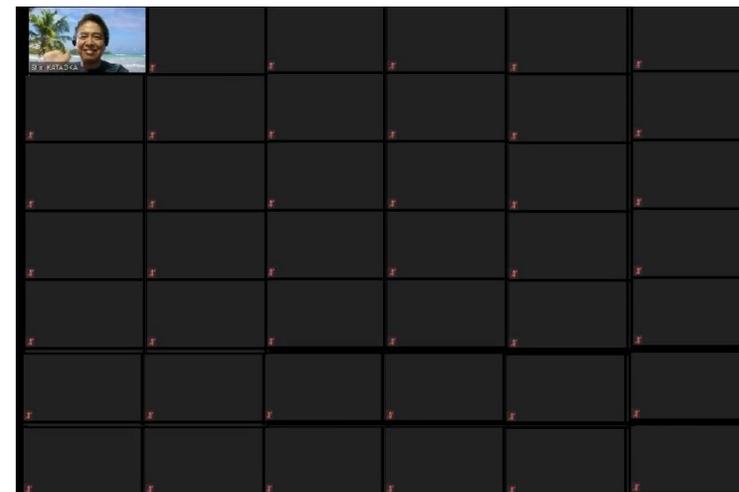
オンラインの問題点2：学生との接触が少ない

学生がZoomのカメラとオンにしない

- ➡ 学生の反応がわからない
- ➡ 教師の孤独な一方しゃべり
- ➡ 参与をうながす活動を取り入れる必要

写真(上)：普通の学生（加工済み）

写真(下)：5年生の最後の授業で学生に顔出しを促した後（加工済み）



4. 香港教育大学のオンライン実施状況(8/8)

オンラインの問題点3：試験の制約

普段の試験は本やレジュメの持ち込み禁止

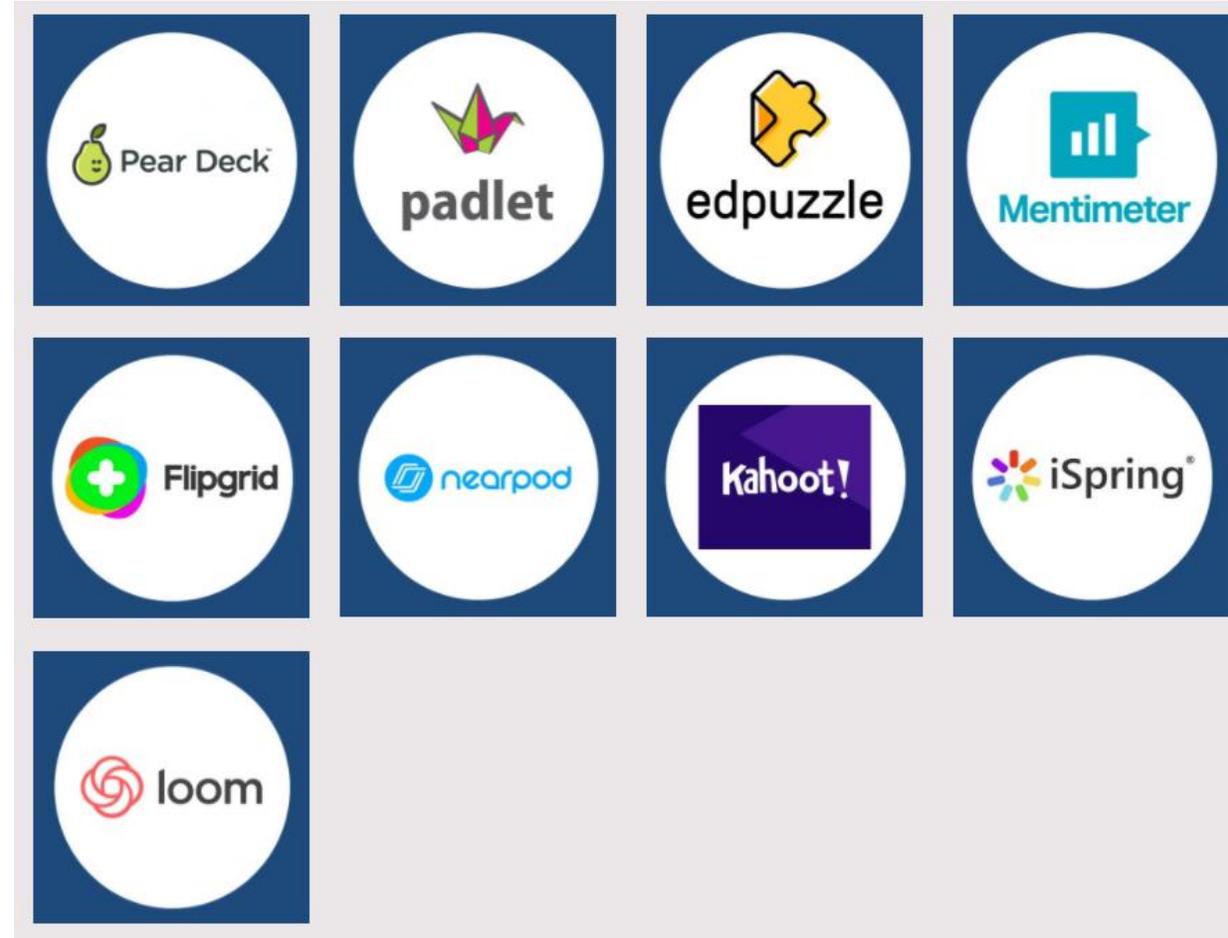
- ➡オンラインでは自宅で受験
- ➡参考資料の閲読を可に
- ➡試験内容の大幅変更

学生に不正防止のため試験中Zoomのカメラとマイクをオンにさせている

- ➡しかしカメラに写らない場所での電子機器使用は検査不可能
- ➡携帯などで試験中にオンライン検索ができる可能性

5. 大学からのサポート

- 2019年11月: Google Meet, Adobe Connect, Skype for Business, Zoom (free version)
- 2019年12月: Zoom upgraded
- 2020年1月: 授業に使うアプリは当初ZoomかSkype for Business推奨だったが、後にほぼZoomに一本化
- Powerpointでのビデオ作製など初級者向けワークショップを夏休み中に実施
- 大学でいろいろなアプリの正規版購入、使い方もビデオやpdfで説明



6. 教員・学生へのアンケート調査

- 教員に対して一コマ3時間のオンライン授業の時間配分を調査
(講義・グループディスカッション・小テスト実施・休憩時間等)
- 学生に対してもオンライン授業に対するアンケート調査
(学生の評価は二極化)

7. 今後の課題

教員

- オンライン授業の質向上
- Zoomと並行して使えるオンラインリソースを開拓
- もっとオンラインならではの国境なき学習方法を模索すべき
- オンライン疲れを減らす工夫が必要

学生

- 快適なオンライン学習環境を作る必要
- 同級生とのオンライン交流の場を増やす
- オンライン疲れを減らす工夫が必要

大学

- カリキュラムとして組み込まれていた海外研修の代替案の模索（オンライン化？）
- 図書館の電子ブック・参考文献を更に充実させる
- 教員・学生へのテクニカルサポート
- 教員・学生へのメンタルケア



ご清聴ありがとうございました！